

※ 静岡県保健医療計画より抜粋

静岡市静岡医師会と市内の病院、救急隊との地域医療連携

○ 在宅患者相互連携システム（イエローカード・システム）

静岡市静岡医師会と静岡市内の5病院が連携して実施している、在宅の寝たきりの患者に対する連携システムです。

・制度の概要

ア 在宅の寝たきり患者が、病状の悪化などに備えて、自分が診療を希望する病院を選択し、かかりつけ医は、当該患者の病状をあらかじめ病院に登録します。

→ 患者にイエローカードを配布。

イ 家で寝たきりの患者の容態が急に悪くなったときは、まず、かかりつけ医に連絡しますが、万一、連絡がとれない場合は、イエローカードに登録してある病院に連絡し、当該病院で診療を受け、必要ならば入院もできます。

○ 在宅医療支援看取りシステム（グリーンカード・システム）

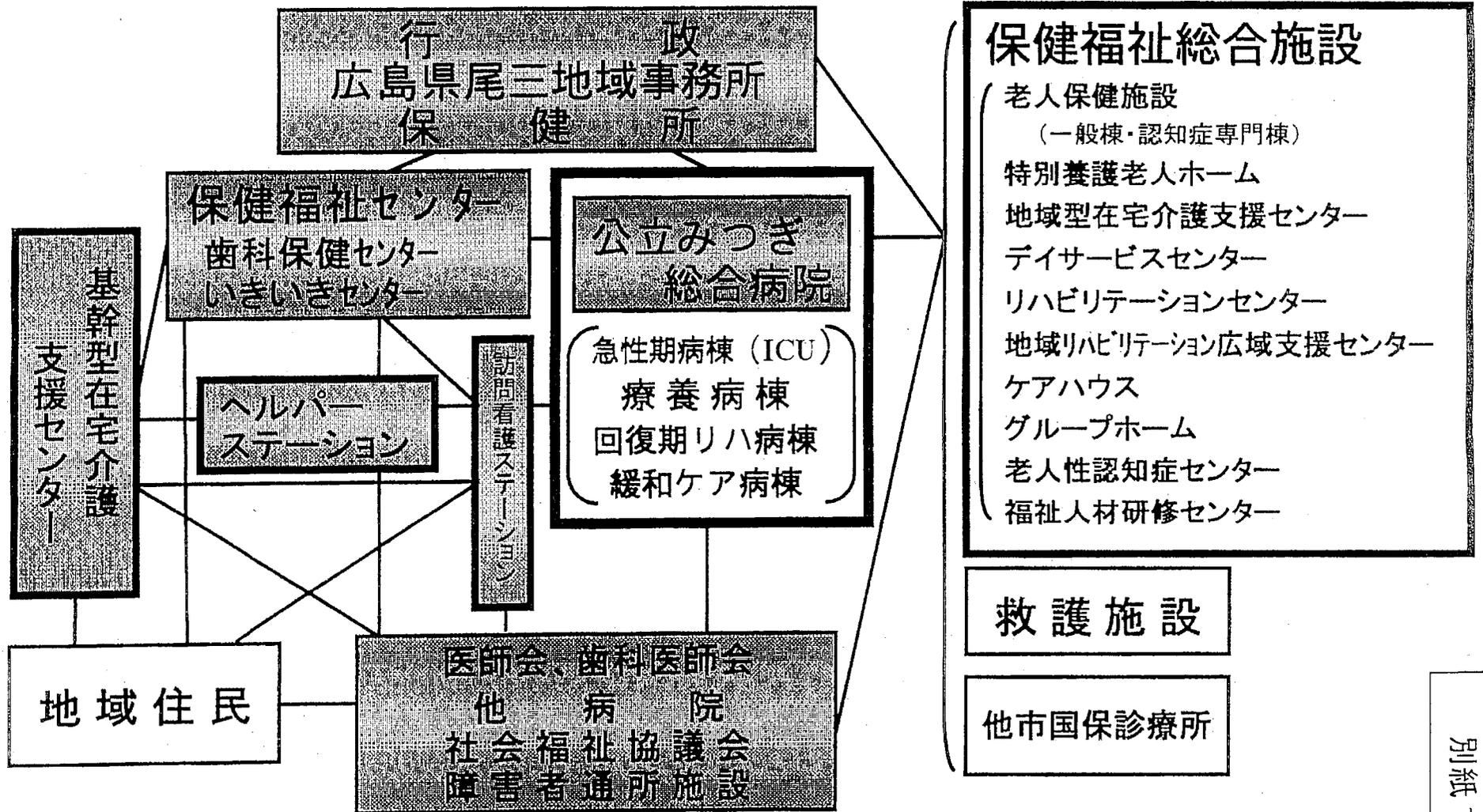
・制度の概要

ア 家族とともに在宅で最後を全うしたいと希望する患者について、かかりつけ医は患者の希望を受けて、あらかじめ病状を医師会に登録しておきます。

→ 患者にグリーンカードを配布。

イ 在宅で看取りを希望される患者の容態が急変したときには、まず、かかりつけ医に連絡します。万一、連絡が取れない場合は、救急隊に電話をし、グリーンカードを持っていることを伝えると、救急隊が当番の医師に連絡し、当該医師が駆けつけ、在宅患者の看取りを行います。

# 公立みつぎ総合病院を核とした地域包括ケアシステム (保健・医療・福祉の連携・統合システム)



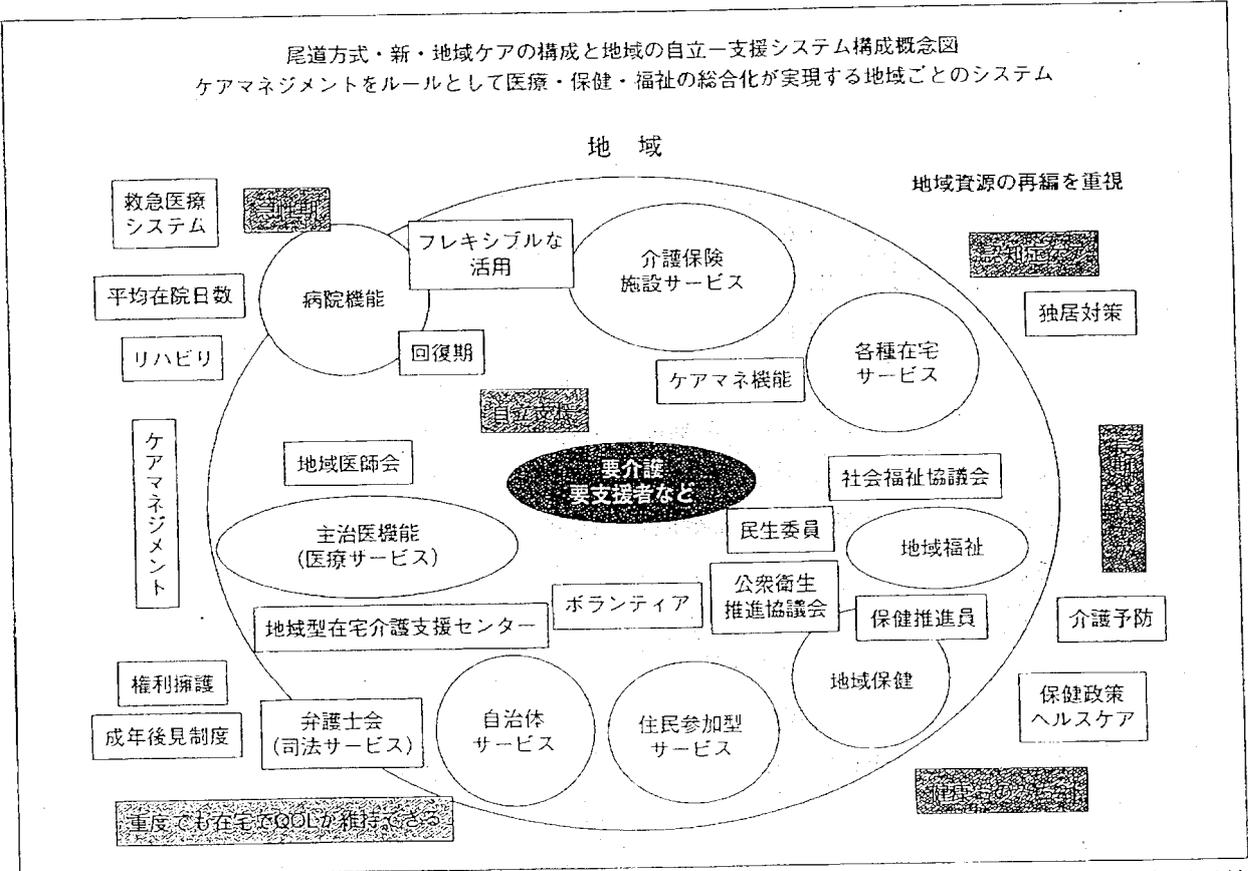


図6 新・地域ケアの構成概念図と医療・保健・福祉の総合化(厚生労働省高齢者介護研究会委員 片山 壽(尾道市医師会))

## はじめに

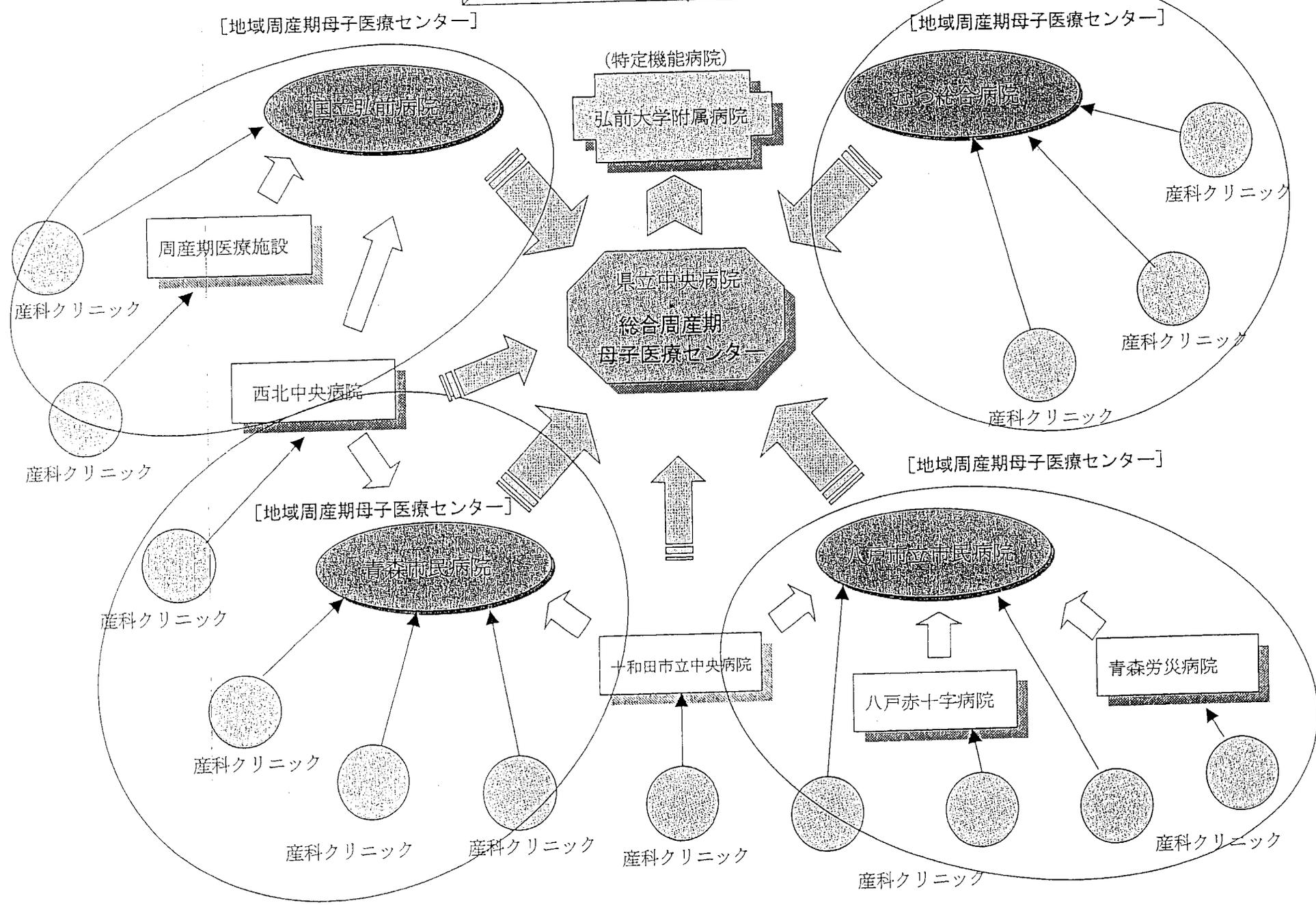


「長崎在宅Dr.ネット」(ながさきざいたくドクターネット)は、在宅訪問診療や往診を複数の医師が連携して行ないます。複数の医師が連携することで24時間対応を実現し、患者さんが安心して在宅療養を行えるようにすることを目的としています。平成15年3月に結成され、広く長崎市内の診療所の先生にお集りいただきました。実際には、患者さんの居住地域にあわせて、主治医を決め、さらに、副主治医がバックアップとして控え、訪問診療の分担や万が一の際の緊急対応をおこなうシステムを作っています。

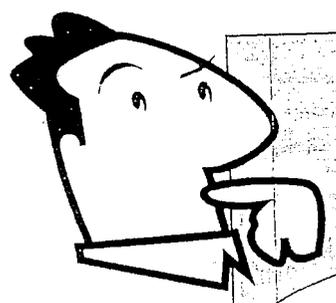
[Next](#) [Home](#)

本ホームページの記載内容についての無断転載を禁じます  
www2.odn.ne.jp/~aef59110 長崎在宅Dr.ネット

# 青森県周産期医療システム体系図



# 地域連携パスのイメージ



もし病気になったら？

- 糖尿病
- 悪性腫瘍
- 難病
- 骨折
- 脳卒中

急性期

病気ごとに経過や治療・看護・サービスは異なる！



## 包括ケアシステム



○必要なサービスの体系化

○各種サービスの効率化

回復期

介護

保健

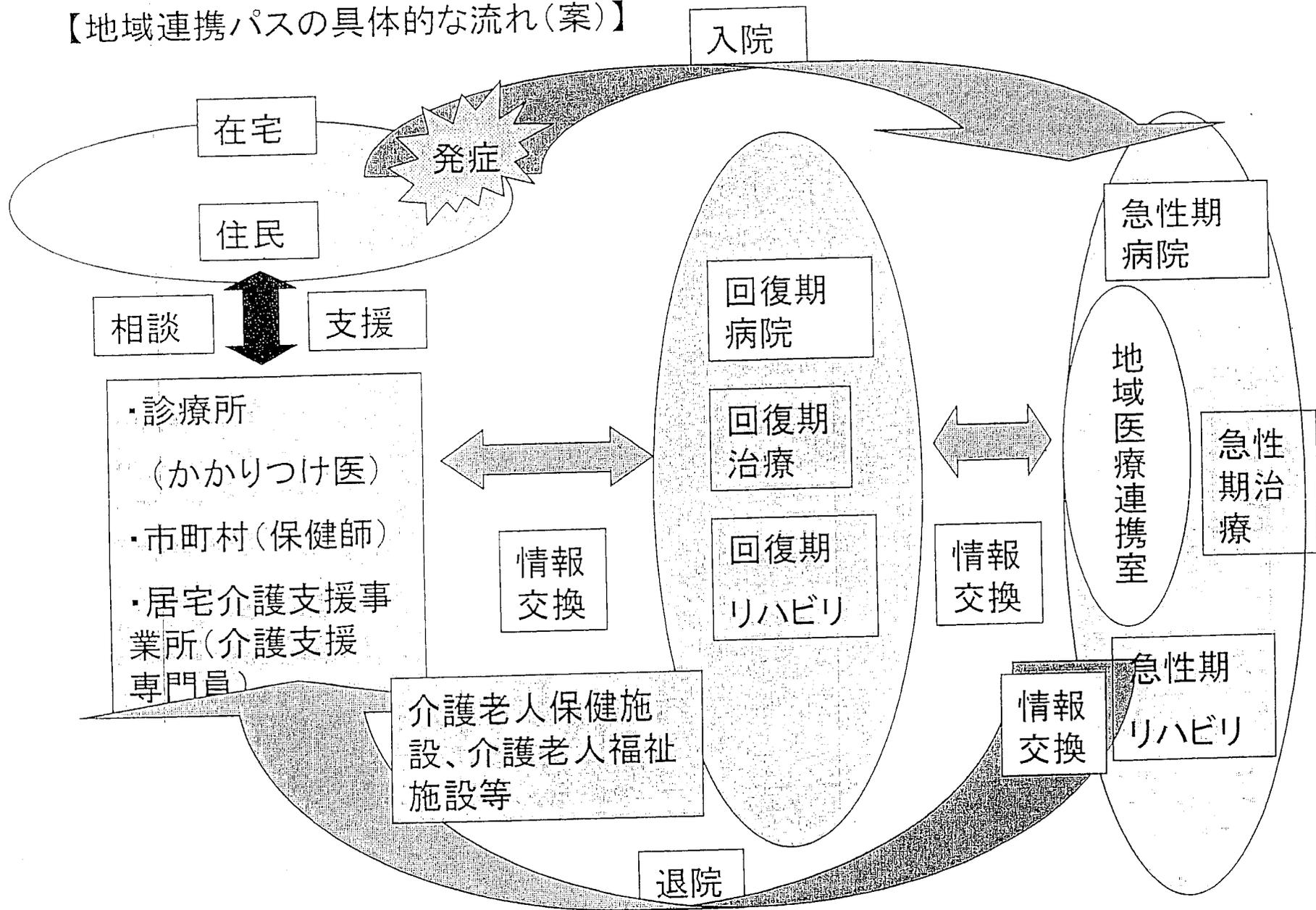
維持期

地域連携パスの標準化モデルを提供

「地域連携パス」定義

急性期から慢性期に至る医療機関の連携パスを地域まで延長し、保健・福祉のサービスを連動させるもの

【地域連携パスの具体的な流れ(案)】



# 地域連携クリティカルパスの概要

## 1 医療機能分化推進事業の実施

毎年、医療機能分化推進事業を実施して、県内の医療機関に地域連携クリティカルパスの実践について研究してもらっている。

その結果は、以下のとおり。

### (1) 猿島赤十字病院

- ア 地域医療連携室の設置
- イ 地域連携クリティカルパス作業部会の開催
- ウ 医療者用クリティカルパスの作成
- エ 患者用クリティカルパスの作成
- オ 医療者用フローシートの作成
- カ 患者用フローシートの作成
- キ 技術チェックシートの作成
- ク 導入クリティカルパス専用指示書の作成
- ケ 採血伝票の作成
- コ 栄養指導依頼書の作成
- サ 管理指導用紙の作成
- シ ビデオによる教育指導の実践
- ス 患者向けパンフレットの作成
- セ 入院費用表の作成

### (2) 水戸済生会総合病院

地域医療連携室の設置・運営 等

## 2 地域医療支援病院研修会の実施

昨年度から、地域医療支援病院研修会を実施して、県内の代表的な医療機関から地域連携クリティカルパスの実践について報告してもらっている。

その結果は、以下のとおり。

### 筑波メディカルセンター病院

- ア 共同診療カードを使用した共同診療システムの導入
- イ 「私の健康手帳」の利用
- ウ 電子カルテ等による診療所・病院－在宅ケア施設－調剤薬局間の患者ネットワーク構築を模索中